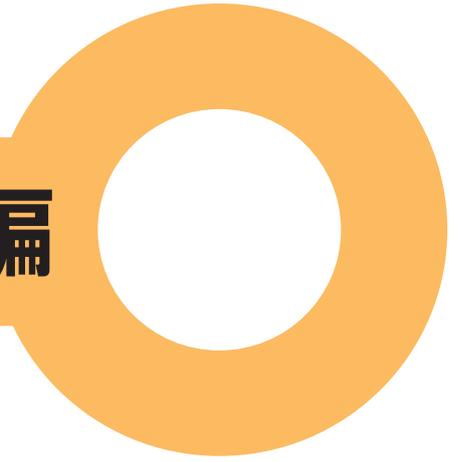


第2章 実践編



第2章 実践編の事例の読み方

実践編は、国立教育政策研究所「評価規準の作成、評価方法等の工夫改善のための参考資料」を参考に次のように構成されています。

実践事例（ ） 学習指導要領に示された単元名

本事例の特徴を示したタイトル

1. 授業の基本的な構想

〈授業のねらい〉

〈授業づくりの考え方〉
*必要に応じて掲載

〈授業づくりの留意点〉
*必要に応じて掲載

2. 単元の目標

* (1) 運動、(2) 態度、(3) 知識、思考・判断（小学校は思考・判断）で示しています。

3. 単元の評価規準、単元及学習活動に即した評価規準

*小学校は、単元の評価規準として、単元の評価規準及び学習活動に即した評価規準を示しています。中学校、高等学校は、単元及学習活動に即した評価規準として、該当学年で取り上げる事項がわかるよう評価規準を示しています。

4. 単元計画（指導と評価の計画）

*中学校評価事例を基本に作成しています。

5. 本時の目標と展開（学年 本時／時数）

小学校

分	主なねらい・学習活動	教師の働きかけ・評価

中学校、高等学校

分	学習内容・学習活動	指導上の留意点	評価

6. 関連資料等

小学校第1学年及び第2学年「体づくり運動」

実践事例
1

～動きを楽しもう 広げよう～

1 授業の基本的な構想

授業のねらい

- ・体ほぐしの運動では、手軽な運動や律動的な運動を行い、体を動かす楽しさや心地よさを味わうことによって、自分の体の状態に気付き、体の調子を整えたり仲間と豊かに交流したりできるようにする。
- ・多様な動きをつくる運動遊びでは、体のバランスをとったり、移動をしたりする動きや用具を操作したり力試しをしたりする動きを通して、体の基本的な動きを総合的に身に付けるようにする。

授業づくりの考え方

- ・体ほぐしの運動では、技能の向上を目指すのではなく、手軽な運動に楽しく取り組み、運動した時の気持ちや心地よさに気付けるようにする。「体を動かす気持ちよさ」「運動すると汗がでること」「心臓の鼓動が激しくなること」などに気付けるようにする。
- ・多様な動きをつくる運動遊びでは、児童にとっては意図的に動きを身に付けることを目指すのではなく、夢中になって運動することを楽しむうちに、結果として動きを身に付けているようにする。低学年では特に動きのレパートリーを増やすこと（動きを広げること）を大切にすること。

2 単元の目標

- (1) 次の運動を行い、体を動かす楽しさや心地よさを味わうとともに、体の基本的な動きができるようにする。
(運動)
 - ・体ほぐしの運動では、心と体の変化に気付いたり、体の調子を整えたり、みんなでかかわり合ったりするための手軽な運動や律動的な運動をすること。
 - ・多様な動きをつくる運動遊びでは、体のバランスをとったり移動したりするとともに、用具の操作などをすること。
- (2) 運動に進んで取り組み、きまりを守り仲良く運動したり、場の安全に気を付けたりすることができるようにする。
(態度)
- (3) 体づくりのための簡単な運動の行い方を工夫できるようにする。
(思考・判断)

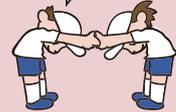
3 単元の評価規準 () は第2学年

	運動への関心・意欲・態度	運動についての思考・判断	運動の技能
単元の評価規準	<ul style="list-style-type: none"> ・体づくりの運動に進んで取り組もうとしている。 ・運動の順番やきまりを守り、友達と仲良く運動しようとしている。 ・用具の準備や片付けをしようとしている。 (・友達と協力して用具の準備や片付けをしようとしている。) ・運動する場や用具の使い方などの安全に気を付けようとしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・体ほぐしの運動の行い方を知り、体を動かす気持ちがいよことなどに気付いている。 (体ほぐしの運動の行い方を選んでいる。) ・多様な動きをつくる運動遊びの行い方や動き方がわかっている。 (多様な動きをつくる運動遊びの動き方を選ぶとともに、友達のよい動きを見付けている。) 	<ul style="list-style-type: none"> ・体のバランスや体を移動したりする動きや、用具を操作したりする動き、力試しの動きができる。
学習活動に即した評価規準	<ol style="list-style-type: none"> ①いろいろな体づくりの運動に進んで楽しく取り組もうとしている。 ②友達と仲良く運動したり、順番を守ったり、運動を行う上でのきまりを守ろうとしたりしている。 ③自分の分担されている用具の準備や片付けをしようとしている。 (⑤友達と協力して用具の準備や片付けをしようとしている。) ④運動する場を横切ったり、周りやぶつからないように間をあけたり、使った用具を片付けたりするなどの安全のきまりを守ろうとしている。 	<ol style="list-style-type: none"> ①体を動かすと、気持ちがいいことや汗が出ること、心臓の鼓動が激しくなることなどに気付いている。 (③友達と体ほぐしの運動を選んだり、用具や場を選んだりしている。) ②多様な動きをつくる運動遊びのそれぞれの行い方や動き方を知っている。 (④多様な動きをつくる運動遊びで、動きを選んだり、友達のよい動きを見付けたりしている。) 	<ol style="list-style-type: none"> ①姿勢や方向を変えて体のバランスをとる動きができる。 ②姿勢や方向を変えて、体を移動する動きができる。 ③用具を操作し、用具に合わせた動きができる。 ④力の入れ方を変えて力試しの動きができる。

※「体ほぐしの運動」は、技能の習得・向上を直接のねらいとするものではないことから、運動の技能の観点から削除している。
※ここでいう「単元」とは、2年間を見通したもので、何時間かのまとまりとして取り扱う単元とは異なるものである。

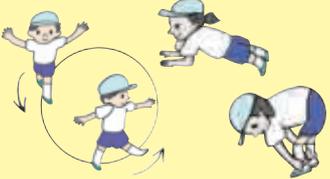
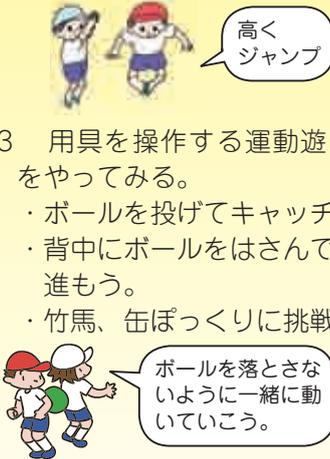
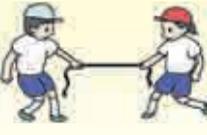
4 指導と評価の計画例 * 第1学年に用具を操作する運動遊びを毎時間配当した計画例

【第1学年 17時間】 * 複数の単元に分けることも可能

		時間	1	2 (本時)	3	4	5	6	7
第一学年	学習の流れ	0	○オリエンテーション ○用具や場の準備 1 学習課題の確認	いろいろな体ほぐしの運動の行い方を知ろう。 2 いろいろな体ほぐしの運動の行い方を知り、やってみる。 例) ・体じゃんけん ・おしくらまんじゅう ・じゃんけん列車 ・ペアでのストレッチ ・ラインウォーキング みんなで押すと体があたたまるね。  背中が伸びて気持ちがいいね。  ※教師のリードで体ほぐしの運動を行い、運動中や運動後に体や心がどのようになっていたかを引き出していくようにする。	1 学習課題の確認 先生や友達と一緒に易しい動きをやってみよう。 2 バランスをとる運動遊びをやってみる。 ・片足で回る。 ・寝転ぶ、起きる ・背中で立つ、座る ・バランスずもう セーので立ち上がろう。  3 用具を操作する運動遊びをやってみる。 ・輪をくるくる・コロコロ ・長なわで大波小波 ・ボールくるくる 体のいろいろな所でボールを回してみよう。 	1 学習課題の確認 3～5時の動きの中からもっとやりたい動きを選んでやってみよう。 2 3～5時で行った遊びから選んで行う。 ・バランスをとる運動遊び ・用具を操作する運動遊び 足を変えても回れたよ。  友達と転がし合いをやってみたよ。 	※各運動遊びから、45分の時間の中で1、2種類の動きをやってみる。 はじめは、教師が「こんな動きできるかな？」提示していく。	※選んだ場で人数や姿勢を変えるなど動きのレパトリーを増やしていく。	
		5	○学習カードの記入 ○動いてみての感想 ○後片付け・挨拶						○振り返り (学習カードへの記入)
評価の観点	運動についての関心・意欲・態度		① (観察)		① (観察)	② (観察) (学習カード)			
	運動についての思考・判断			② (観察) (学習カード)			② (観察) (学習カード)		
	運動の技能							① (観察)	③ (観察)

8	9	10	11	12 (本時)	13	14	15	16	17
---	---	----	----	---------	----	----	----	----	----

○整理・あいさつ ○準備運動 ○用具や場の準備

<p>1 学習課題の確認</p> <p>先生や友達と一緒に易しい動きをやってみよう。</p> <p>2 体を移動する運動遊びをやってみる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・円の周りを動こう。 ・跳ぶ・跳ねる ・るんるんマラソン(かけ足)  <p>高くジャンプ</p> <p>3 用具を操作する運動遊びをやってみる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ボールを投げてキャッチ ・背中にボールをはさんで進もう。 ・竹馬、缶ぼっくりに挑戦  <p>ボールを落とさないように一緒に動いていこう。</p> <p>※各運動遊びから、45分の時間の中で1、2種類の動きをやってみる。はじめは、教師が「こんな動きできるかな？」提示していく。</p>	<p>1 学習課題の確認</p> <p>8～10時の動きの中からもっとやりたい動きを選んでやってみよう。</p> <p>2 8～10時で行った遊びから選んで行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・体を移動する運動遊び ・用具を操作する運動遊び <p>ケンパで進もう。</p>  <p>コースをつくってやってみよう。</p>  <p>※選んだ場で人数や姿勢を変えるなど動きのレパートリーを増やしていく。</p>	<p>1 学習課題の確認</p> <p>先生や友達と一緒に易しい動きをやってみよう。</p> <p>2 力試しの運動遊びをやってみる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・いろいろなおすもう ・おんぶで運ぼう ・腕立て時計回り ・人や物を運んでみよう。 <p>手だけで回ってみよう。</p>   <p>3 用具を操作する運動遊びをやってみる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・短なわに挑戦 ・前回し跳び ・後ろ回し跳び <p>※各運動遊びから、45分の時間の中で1、2種類の動きをやってみる。はじめは、教師が「こんな動きできるかな？」提示していく。</p>	<p>1 学習課題の確認</p> <p>13～15時の動きの中からもっとやりたい動きを選んでやってみよう。</p> <p>2 13～15時で行った遊びから選んで行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・力試しの運動遊び ・用具を操作する運動遊び <p>チームで対戦してみよう。押しずもうだよ。</p>   <p>※選んだ場で人数や姿勢を変えるなど動きのレパートリーを増やしていく。</p>
--	---	---	---

○友達のよい動きや、できるようになった動きの確認 ○挨拶 ○後片付け

	① (観察)	④ (観察)			③ (観察)				
② (観察) (学習カード)						② (観察) (学習カード)			② (観察) (発言)
			② (観察)	③ (観察)			④ (観察)	③ (観察)	

実践事例 1